

エスユー通信



社長挨拶

体調管理

皆さん毎日の作業お疲れ様です。

梅雨も明け、猛暑のシーズンに入りました。現場の皆さんは体調管理に気を使っていることと思います。

このシーズンは特に、体、頭を冷やすこと、休憩回数を多くとることが大切です。一日の気温差、湿度差により、情緒不安定になりやすく、注意力が散漫になっていることを理解してください。休憩や仮眠で調整し、日々安全に業務を行っていきましょう。

そして、気を付けなくてはならないのが、ゲリラ豪雨です。弊社の保安基準上は災害レベル4以上になったら、車両を止める、引き返すですが、災害レベルが3以下であっても、「前が見えない」「浸水の可能性がある」等に気づいた場合は、車両を止めてください。そして安全を確保してください。その上で、事務所へLINEまたは電話を行い、状況報告をして下さい。

まずは、皆さんの安全優先、それからお客様から預かった商品、大切な相棒である車両の安全です。

また、極端に疲れが出やすい時期にも入りますので、運行途中での15分～30分以内での仮眠も推奨いたします。運行前にどこで仮眠が出来るかも決めておき、休憩・仮眠を普段よりも1回以上増やした行程を組んでください。

暑い日が続きますが、皆さんが無事に、安全に帰ってこれますことを1番に考えていきたいと思っています。

宜しくお願い致します。

代表取締役 清水 英次



社長だより

高田一成社長挨拶

社員の皆様へ

この度、株式会社エスユー物流企画の代表取締役役に就任いたしました高田一成です。まずは、これまで共に働いてきた社員の皆様に心から感謝申し上げます。

この会社に入社してからの15年を振り返りますと、数々の経験を積むことができました。

私はドライバーとして清水運輸株式会社行田営業所（現羽生事業所の前身）で3tトラックでの乗務からスタートしました。ゲート車に住宅建材（フローリング材やドア、窓枠など）を手積みし、建築中の住宅内に納品する業務でした。新興住宅地で大工さんの車があふれており、何十メートルも担いだ記憶があります。その後4t車でラーメン・雑貨等の配送業務を経験、富士見営業所の先輩ドライバーの方々には大変お世話になりました。スキルアップのため資格支援制度を活用し大型免許を取得、大型ドライバーとして飲料輸送や長距離運行も経験してきました。

総合職への転向のきっかけは、北関東事業所（3拠点目）が開設され、毎年1事業所ずつ営業拠点を増設するという中期事業計画を発端とし、経営陣から主任や班長などにキャリアパスが示されたことでした。自分に出来るかどうか分からないが、チャレンジしてみたいと感じました。また、経営トップから直接話を聞く機会も増え、そのなかで経営理念にもある「正直者は馬鹿を見ない、横着者は得をしない、そんな会社になりたい」という考えに深く共感しました。その考え方に賛同し、私もその一翼を担いたいと強く思いました。その後、当社が毎年1つずつ事業所を増設し、成長していく姿を実際に見てきました。

今後も、当社の発展のために全力を尽くしてまいります。より良いサービスを提供し続けるために、日々努力を重ねていきます。皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからも清水運輸グループを共に盛り上げていきましょう。

社歴

平成21年3月	清水運輸株式会社 行田営業所 入社
平成25年1月	株式会社エスユーロジ北関東事業所 異動 所長代理
平成26年1月	同事業所 所長
平成27年6月	株式会社エスユーロジ羽生事業所 異動 所長
平成28年4月	同グループ 部長
平成29年1月	株式会社エスユーロジつくばみらい事業所 異動 所長
令和2年4月	同グループ 取締役（非常勤）
令和2年8月	清水運輸株式会社本社 異動
令和3年4月	同グループ 常務取締役
令和6年4月	株式会社エスユー物流企画 代表取締役



品質通信

危険予知トレーニング＝KYT

KYTとは…疑似体験をして想定を増やす訓練の事です。

思い込みによるエラーの発生を抑えるのに非常に効果的ですので、「あるある」のKYTをやってみましょう。

<状況>

- 1.自分は直進しようとしています
- 2.前方の車両は左折しようとしています



Q. 皆さんであればこの状況でどのような行動（判断）をとりますか？自分事として考えてみましょう！



このシチュエーションは

- ▶よくあるパターン
- ▶ハンドル操作で回避する傾向が強い
- ▶確認と動作（行動）が同時になりやすい
- ▶追突・衝突事故に繋がるケース

となります。曲がるだろう…などの”自己中心的な考え”になればなるほど事故の発生率は高くなるので、〇〇かもしれない…の予測や想定をに対応できるよう準備をしておきましょう。特に、**ハンドル操作で回避**ではなく**ブレーキ操作で回避**する習慣をつけておきましょう。



《覚えておこう》其の一

- ▼自分と周りが見ている・見えているものは違う
- ▼自分と周りの判断基準も違う
- ▼そのため動作（操作）が異なる

《覚えておこう》其の二

◎減速路面標示（破線）がある箇所は、危険意識をより高く持ちましょう



【確認しておこう】

